

市議会からのお知らせ

第1回定例会を開催



【問合先】
議会事務局議会係
☎23194

◎第1回定例会は、3月2日から13日までの12日間を会期として開催し、市長と議員が提案した議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として会期を短縮し通常の通告質問は取りやめ、予算審査特別委員会が総括的な質疑を行いました。

総括的な質疑の内容

- 【澤田議員】
 - ▼市立三笠総合病院について（市立病院の今後のあり方）
 - ▼食のまちづくりについて（食の基本条例）
 - ▼ふるさと納税について（これまでの成果と今後の取り組み）
- 【折笠議員】
 - ▼新型コロナウイルス感染症の対応について（国や道と連携した感染拡大防止および企業支援生活支援などの対応）

▼市立三笠総合病院について（今後のあり方の検討の現状と今後の対策）

【浅尾議員】

▼幼保連携型認定こども園について（待機児童の実態と今後の考え方）

【畠山議員】

▼三笠市総合計画および三笠市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（本市の考え方）

【赤川議員】

▼新型コロナウイルスの感染対策について（市内の現状と今後の影響、感染対策に係る体制）

【合津議員】

▼市長の政治姿勢について（4大プロジェクト施策の展開、市立三笠総合病院の方向性）

【只野議員】

▼市政に臨む基本姿勢について（まちづくりに臨む基本姿勢）

▼新型コロナウイルスの感染対策について（休校による今後

の対応と児童・生徒の状況）

▼市立三笠総合病院について（今後の病院のあり方）

主な議決内容

市長提案では、児童館機能を拡充するよう、旧三笠保育所に児童館機能を移転するため必要な改正を行う「三笠市児童館設置条例の一部改正」、共通使用料の対象施設に三笠文化芸術振興促進施設を追加する「三笠市公の施設共通使用料の一部改正」などの条例改正10件、国のGIGAスクール構想に伴い各小中学校および高等学校の通信ネットワーク設備を整備する費用3,139万円や、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により市内商工業者への経営安定に向けた運転資金の支援を行う費用667万円を増額する「令和元年度三笠市一般会計補正予算」

など補正予算5件、予算編成に当たり、将来にわたる健全な財政運営を意識しつつ、総合計画や総合戦略の推進とともに、新しい発想も取り入れ、子育て支援、高齢者対策、地域特性を活かした経済・産業活性化対策などに重点配分した「令和2年度一般会計予算」など予算7件。そのほか「桂沢水道企業団規約の変更協議」1件、「三笠市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更」1件、「土地の取得」1件、計25件を原案どおり可決しました。議員提案では「議会運営委員会および常任委員会所管事項調査」1件と「民族共生の未来を切り開く決議」1件を原案どおり可決しました。

今回の定例会では、4人の方が傍聴されています。

次回の定例会は6月に開催します。

※なお、本会議の会議録は、でき上がり次第、三笠市議会ホームページ内に掲載します。また、市役所1階市民生活課市民室と公民館内図書館入口横にも会議録を設置します。